

「剣道スポーツ少年団の活動を振り返って」 八幡平市剣道スポーツ少年団

吉田 昂之介

ぼくは3年生の夏に、はかまに防具を着けて稽古している姿が格好良いと思い、剣道スポーツ少年団に入団しました。剣道スポ少は、はかまや防具を貸してくれて、すぐに稽古を始めることができました。

稽古は月曜・木曜・土曜の週3回で、土日に錬成会や大会がある時は参加しています。平日の稽古は夜なので、「疲れて行きたくないな」という気持ちになることもありますが、稽古に参加した後は、「楽しかった。やって良かった」といつも思います。

剣道には面・小手・胴の3つの技がありますが、ぼくは面が好きで、どうやって一本を取るかを工夫しながら稽古を頑張っています。しかし、最近、相手が面を打ってきた時に胴を打つ、面抜き胴を試合で出して決まったので、時々出すようになりました。ぼくは背が小さく、背の高い相手から面を打たれることが多いため、これから小手や、ほかの返し技も上手になりたいと思います。

剣道のほかに冬はスキーもやっていて、この時期は土曜の稽古や試合を休んでいます。春に剣道を再開すると、筋肉が落ちているのか竹刀の振りが遅くなっています。

これからまた、スキーの季節になって剣道の稽古に参加することが少なくなりますが、なるべく平日の稽古には参加し、6年生になったら土曜も稽古を頑張って、試合で面が決められるように練習を続けていきたいです。



八幡平市剣道スポーツ少年団

「今シーズンの目標！！」 松尾ジュニアスキースポーツ少年団

佐々木 華

皆さん、おはようございます。松尾ジュニアスキースポーツ少年団の大更小学校6年佐々木華です。

昨シーズンは、コーチにコツを教えてもらいながら、上達し大会に出ることができました。今年は団員も増え、練習もにぎやかになると思います。私は、6年生として、コーチやスキー場のスタッフの皆さん、家族に感謝の気持ちをもって練習に励めるようなチームにしたいと思います。

スキーはこれからが本番です。なので夏は各自、自主トレーニングに励みました。私は、マラソン、インラインスケートなどで基礎体力をつけました。

雪が降りスキー場がオープンしたら、午前九時から午後三時までの練習が始まります。下倉スキー場を練習場所とし、練習内容はポールトレーニングです。個人競技ではありますが、コース整備や、ポールの準備は全員で協力して行います。大会では、チーム全員の入賞を目指し、一つ一つ悔いなく終わりたいです。そのために日々練習を頑張ります。応援よろしくお願いします。



松尾ジュニアスキースポーツ少年団



「スポ少活動で学んだこと」 松尾バレーボールスポーツ少年団

吉田 らん

私が、スポ少活動で学んだことは三つあります。一つ目は、協力です。何度か問題が起きて、みんなで話し合うことで解決することができました。他にも、キャプテンになっていろいろ分からないこともあったけど、副キャプテンや、六年生で協力し、乗り越えることができました。

二つ目は、礼儀です。体育館に入るときは「お願いします。」ボールを拾ってもらったら「ありがとうございました。」など、他には、他の人のじゃまにならないように端に寄ったり、場所をとりすぎないように荷物を詰めて置いたりするなどの気づきが大切ということも改めて学ぶことができました。

三つめは、コミュニケーションです。試合中に声を出すことで、だれがボールを取るのか、どこにボールを上げればいいのかをみんながはあくできます。反対に、声を出さなければ、誰が取るのか、どこに上げればいいのか、はあくできず、次々とボールが落ちてしまいます。声を出すからボールがつながり、より楽しい試合ができました。

このように、私がスポ少活動を通して学んだことはたくさんあります。十七人全員をまとめることはとても難しかったけど、みんなで試合をしたり、練習したりしたことがすごくいい思い出になりました。



松尾バレーボールスポーツ少年団

「一年間を振り返って」 松尾野球スポーツ少年団

林 颯希

今年のチームは明るいチームでした。みんな楽しそうに野球をしていて自分も楽しく野球ができました。このようなチームが立てていた目標は、県大会ベスト4以上でした。とてもレベルの高い目標でしたが、みんな目標に向かって練習できました。

一番初めの試合では、なかなかチーム一丸となって野球ができませんでした。試合終わりみんなで話し合った時もありました。でも経験を重ねていくうちにチームがまとまっていき、自分たちの野球ができるようになりました。県大会に出るまでに、よりチーム一丸になれました。マック県大会当日チームは、緊張に包まれていました。みんな本気で戦いました。ですが、一回戦で負けてしまい、悲しい結果で終わってしまいました。ですがそれをバネにして、もっと練習し次のもりしん県大会にのぞみました。

もりしん県大会では、マック県大会と同じ相手とあたりました。「絶対勝つぞ。」という気持ちで戦いました。打線がつながり、みごと勝つことができました。次の試合で負けてしまい、ベスト4以上には届きませんでした。県大会一勝という結果を残せたので良かったです。

このチームは、あいさつ、礼ぎ、思いやりを大切に活動してきました。だれにもあいさつをし、思いやりをもち、礼ぎ正しくみんなで協力しながら活動してきました。

ですが、去年もできなかった道具をきれいに並べることを今年もできなかったの、来年これを意識して活動して行ってほしいです。来年は合同になりますが、あいさつ、礼ぎ、思いやりを忘れずに、チーム一丸となってがんばってほしいです。



松尾野球スポーツ少年団



「スポ少活動で頑張ったこと」 田頭バレーボールスポーツ少年団

佐々木 結菜

私達、田頭バレーボールスポーツ少年団の活動は、平日三回の練習と、土日の練習試合や大会があります。今年の団員は、一年生から六年生までの七人です。

私は三年生の時に入団し、今年は六年生が二人の中、キャプテンとして活動してきました。最初はチームをまとめるにはどうすれば良いか、わからないことのほうが多く、とても不安でしたが、家族や監督、チームのみんなの支えがあって、頑張ることができました。

今年も、多くの大会に出場する機会がありました。十月に行われた、西根ライオンズカップでは、二部優勝することが出来ました。

今年の目標は、県大会の二日目に残ることでした。チームのみんなと協力して、日々の練習に取り組みました。結果は残念ながら、一日目の予選リーグ敗退でしたが、一勝することが出来たので良かったです。

今後、スポ少で学んだことや感謝の気持ちを忘れずに、バレーボールを頑張っていていきたいと思います。



田頭バレーボールスポーツ少年団

「一年を振り返って」 西根第一バスケットボールスポーツ少年団

勝又 璃音

私がバスケットボール部に入部してから、この一年は、あっという間に過ぎていきました。最初は中学校の部活動になれることさえ精一杯で、先輩たちのスピードや技術の高さに圧倒されていました。しかし毎日の練習を続けるうちに、少しずつ自分の変化を感じられるようになり、バスケの楽しさや奥深さを実感する一年になりました。

入部当初、私はパスやドリブルなどの基本的なプレーを上手にできず、練習が思うようにいかない日もありました。特にフットワークの練習はきつく、体力的にもたいへんで何度も心が折れそうになりました。それでも先輩たちが声をかけてくれたことで、少しずつ前向きに取り組めるようになりました。できなかったことができるようになる瞬間は本当にうれしく、自分の努力が形になることを初めて強く感じました。

一年間で一番印象に残っているのは、初めて公式戦に出たときのことです。緊張で頭が真っ白になり、試合の流れについていくのが精一杯でしたが、試合後に「次はもっと動けるようになりたい」と自然に思いました。この経験は、自分に足りないものを知るきっかけになり、練習に向かう気持ちをより強くしてくれました。今では、部活に行くために小さな目標を作り、それを達成できるよう意識して取り組んでいます。そして、チームメイトをサポートでき誰からも応援されるような選手になりたいです。



西根第一バスケットボールスポーツ少年団

「今年一年をふりかえって」 安代野球スポーツ少年団

佐藤 友司

ぼくたちは「感謝の心を大事にします」「勝ちにこだわります」「野球を通して人間性を磨きます」の三つの文言を大切に「地区優勝」という目標をにかけて日々練習してきました。

今年、地区優勝はできませんでしたが、県大会に出場することができました。結果は初戦敗退でした。この県大会で経験したことや練習試合、地区予選などから、来年に向けて個人、チームの課題を見つけることができました。この課題を冬のあいだで改善して、来年は「地区優勝」という目標を達成できるようにしたいです。

また、日頃から親やコーチ、監督に感謝の気持ちを忘れずに、一球一球に集中して野球をしていきたいと思います。



安代野球スポーツ少年団

「安代中学校スキー部」 安代中スキースポーツ少年団

成田 元気

私たち安代中学校スキー部は、クロカン1名、アルペン1名、ジャンプ1名の計3人で活動しています。

今シーズン、私たちスキー部は、男女ともに、東北、全国大会出場を目標に頑張っています。夏の練習では、サマージャンプ、ローラースキー練習をメインにトレーニングしてきました。また、駅伝練習に参加して持久力アップに向けて頑張ってきました。「何をするかではなく、どのようにするか」を常に考えて練習していました。今月に入ってから、雪上練習も始まり、本格的にシーズンに入り、スイッチを入れ替えて練習に励んでいます。

東北、全国大会出場を目標にライバルの存在を常に意識しながら練習しています。

今、私たち安代中学校スキー部は、感謝の気持ちを忘れず、各自の目標に向けて日々頑張っています。応援よろしくお祈りします。



安代中スキースポーツ少年団

「一年を振り返って」 安代スポーツ少年団

伊藤 響絆

私たち野球部は「二つの県大会に出場する」という目標を立て、練習に励んできました。チーム全員でキャッチボールや守備練習の基本を大切に、みんなで声を掛け合って取り組む事で、少しずつ力をつけて行くことができました。結果は予選敗退と言う事もあり、一つの県大会だけの出場となりました。悔しい結果ではありましたが、出場した県大会では全員が気持ちを一つにして、持っている力を出し切る事が出来たと思います。また負けた悔しさを次に繋げることが出来たと思います。この一年間、チームとして努力を続ける事、仲間と支え合う事で成長に繋がることを学びました。目標には届く事が出来ませんでした。この経験は今後活かす大きな力になりました。活動を支えて下さった指導者の方々、保護者の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



安代スポーツ少年団

「2025年の活動報告」 八幡平軟式野球クラブスポーツ少年団

立花 碧男

私たち八幡平軟式野球クラブスポーツ少年団は、中学校の部活動地域移行のため、民間のクラブチームとして2025年の4月に発足しました。

本年度は中学校からの移行期間のため部活動が主でしたが、秋から徐々に全体での練習も行えるようになってきました。

まだまだ活動そのものは少ないですが、西根中学校・西根第一中学校・松尾中学校の12名が集まり一緒に汗を流しています。

現在は冬場のウェイトトレーニングで、春に向けた体づくりを行っており、必ず来春に実を結んでよい結果が出せるように私たちは一生懸命トレーニングに励んでいます。

来年は県大会出場を目標にかかげ一致団結して目標を達成できるように全員野球で頑張ります。



八幡平軟式野球スポーツ少年団



「一年間を振り返って」 安代ソフトテニススポーツ少年団

佐藤 陽真

私たち、安代ソフトテニス部は、男女ともに、人数が少ないなか、活動してきました。

練習では、中総体や新人戦でいい結果が残せるように、基礎練習や、体力づくりなどに力を入れてきました。

大会では、岩手地区学年別大会で、一年生の男女一ペアずつが県大会出場を果たしました。岩手地区新人大会、個人戦では、二年生の一ペアが県大会出場をすることができました。これらの大会で、自分たちの課題点などが見つかったので、一人一人の課題点を冬の練習で重点的に取り組んでいきたいと思います。

この一年間で、学んだことは、何かをやるときには、メリハリが大事だということです。自分たちの現状では、一年生がまだ、メリハリがついていない部分もあるので、場面場面での、切り替えや、けじめをしっかりとつけていきたいと思います。この冬の練習でしっかり体力づくりを行い、来年の中総体では、団体、個人とも県大会を目指し、全員で協力し合って目標を達成したいです。



安代ソフトテニススポーツ少年団

「田山スポ少で学んだこと」 田山スポーツ少年団

八幡 岳

田山スポ少は、夏場の総合運動部に加えて冬場のスキー、アルペン部、クロカン部があります。

総合運動部は、体幹トレーニングを中心に様々なスポーツを体験できます。フリスビーを使ったアルティメットやサッカー、バスケットボールなどでは声を掛け合って行い、チームプレーの大切さを学び、剣道や空手などの武道では、礼儀作法や、相手への敬意の大切さを学びました。マラソン大会や駅伝大会では、最後まで諦めず、走りぬく事や、仲間との仲を深めることができました。

ぼくは、どれもうまくできたわけではなかったけど、最後までやりぬくことを目標にがんばりました。ぼくは一年生の時に田山スポ少に入って、最初はできることが少なく不安だったけど、なんでもできる先輩がやさしく教えてくれたから楽しくスポ少を続けることができました。頼りないぼくでしたが、仲間のおかげでリーダーとしてやってこれました。

これから冬場のスキー部の活動が始まります。総合運動部で学んだことを土台とし、コーチや家族、仲間への感謝の気持ちをもって頑張りたいと思います。

「一生の思い出」 アレグレーゴ八幡平サッカースポーツ少年団

山田 涼生

僕達、アレグレーゴ八幡平サッカースポーツ少年団は現在、団員三十二名、指導者七名で活動しています。平日は火曜日と木曜日のトレーニング、休日にも練習試合や大会へ出場したりしています。

僕は、姉と兄の影きょうを受けて小学一年生から少年団に入りました。低学年のころはとにかく試合に出る事が楽しかったです。高学年になると勝ちたい気持ちが強く出てきてうまくいかない時に仲間につくあたることもありましたが、でも、この仲間でサッカーできた事は一生の思い出です。

十月にU-12サッカー選手権大会が花巻でありました。結果は一回戦敗退でしたが、今まで一番集中し戦う事ができ、いい試合でした。一点ですがシュートを入れる事もでき、くいは無いです。

まだまだみんなとサッカーをしたいです。

最後に、今まで応援や指導をしてくれた監督、コーチ、お父さん、お母さん、本当にありがとうございました。



アレグレーゴ八幡平サッカースポーツ少年団



田山スポーツ少年団

「一年の活動を振り返って」 八幡平ラグビースポーツ少年団

越戸 佑

僕たちは毎週水曜日に主に大更小学校の体育館で午後6時半～8時に団員14名で活動をしています。

今年の夏の八幡平カップでは、みんなの力を合わせてチャンピオンリーグでは3位、フレンドリーグでは準優勝という結果でした。紫波の大会では、強豪の日詰小に苦戦しました。現在は出場した大会の結果や経験からディフェンスの強化を中心に練習を行い、みんなで絶対に優勝してやるぞ！という思いで毎週練習に取り組んでいます。

12月14日にはSMBCカップという大きな大会があります。強化に取り組んできたディフェンスをうまく生かしたいです。攻めの時は、テンポ良くパスを回しながら全力で走り抜けてトライを決めたいです。皆で力を合わせて、普段の練習の成果を発揮できるよう全力で試合に臨みたいと思います。



八幡平ラグビースポーツ少年団

「思いやり」 寺田柔道スポーツ少年団

石井 大智

家族に「柔道やってみない？」と言われて3年生の時に柔道を始めました。体験に行くと、みんなが一生けん命に取り組んでいました。何も知らない自分に優しく話しかけてくれた部員達。見よう見まねで2時間の練習は、あっという間に終わりました。自分の心は「楽しかった。」で満たされた。僕は週2回、がんばろうと決めました。

20時45分、打ち込みが終わって一息すると実戦練習の乱取りが始まる。いつも僕は「がんばるぞ！」と気合を入れる。一しゅんでたおされる時もあるけど、あきらめない気持ちがあればたおされたって平気だ。

初めての試合、知らない人との試合は「始め！！」と言われたしゅん間に、技をかけられてほんの数秒で終わった。何をされたのか分からなかった。先生が「はじめはみんなそうだから気にするな。」と言ってくれた。試合をやる回数が多くなると、負けてくやしくて涙がこぼれた。でも一人じゃない。なぐさめてくれる仲間がいる。相手を思いやる気持ちが次の勇気をくれるし、みんながいるから強くなれる。だからぼくも思いやりをもって行動しようと思います。

いつも指どうしてくれる先生方に感謝し、これからもがんばりたいと思います。



寺田柔道スポーツ少年団

「1年を振り返って」 西根第一クラブスポーツ少年団

須崎 蒼紫

西根第一クラブでは、3年生の9人、2年生の2人、1年生の1人、計12人で活動してきました。

5月に行われた全軟連の大会では負けてしまい県大会に行けずとても悔しかったです。

6月に行われた中総体では2回勝たないと県大会に行くことができないという、少しのミスも許されない試合でした。1回戦を8対1で突破し、2回戦を5対4で突破し見事県大会出場を決めました。2回戦目はいつも勝つことのできなかつたチームだったのでとてもうれしかったです。

そして、迎えた7月の県大会では、自分たちの野球ができずとても悔しい結果で終わりました。

この1年間を通して部員1人1人が考え、行動したたくさんの方の事を学べたと思います。



西根第一クラブスポーツ少年団

「この一年をふりかえって」 西根ソフトテニススポーツ少年団

津志田 晴陽

この一年をふりかえってぼくがけいけんしたことは、ソフトテニスの大会を通じていろんな友達ができただけです。

最初は、団員が3人しかいなかったけどだんだん団員が増えてきて今では10にちかくまでふえました。いろいろな大会に出場して一関の大会では3位に入賞することができました。これは西根スポ少23年ぶりの入賞でした。栄光の記録にのこののでとてもうれしかったです。全国小学生ソフトテニス大会県予選では、あと一步で全国大会に行けそうでした。とてもくやしかったです。ほかの団員たちも大会に出場してけっかをのこしていました。

大会に行くごとに友達ができえました。試合のまち時間にいっしょにあそぶほどの仲になりました。昨日のてきは今日の友てきな。

来年ぼくががんばりたいことはもっと強くなって全国大会に出ることです。更に友達も増やして楽しくソフトテニスをやりたいです。



西根ソフトテニススポーツ少年団

「僕の目標」 八幡平市空手道スポーツ少年団

石井 春瑠

僕が空手を始めたのは、4年生の時です。亡き父が小学校から高校まで空手をしていたこともあり、僕も空手を通じて心身共に強くなりたいと思ったからです。

初めて出場した2年前の県大会では、初戦で敗退し、悔しくて涙したことを覚えています。その悔しさをバネに稽古に励み、昨年の県大会では形と組手で入賞することができました。しかし、入賞はできてなかなか1位には手が届きませんでした。

今年の8月の昇級試験で茶帯を取ることができ、中級としての最後の出場の試合で初めて形・組手に優勝することができました。

上級の仲間入りをしてからは、圧倒的な力の差を感じ悔しい思いをすることが多いです。

僕の今の目標は、東北・全国に出場すること、父の遺してくれた黒帯を付けることです。まだまだ実力不足なので、自信を持って黒帯を付けられるよう、努力を重ねたいです。



八幡平市空手スポーツ少年団

「トライアスロン大会に参加して」 八幡平市トライアスロンスポーツ少年団

阿部 藍凜

私は埼玉のトライアスロン大会に出て、1番心に残っているのは湖を泳いだことです。昨年度、この大会に参加してスイムの練習不足で、おぼれそうになり、湖を泳ぐことが怖くなりました。その後、重点的にスイム練習を重ねて練習以上の泳ぎができ、自信ができました。

そして、ランジェットエリアでは、できるだけやくゼッケンをつけたりし、バイクにすばやく乗られるような準備ができました。

バイクは、1番好きな種目なのでスイムで追いこされた人達を絶対追いこそうと思ってがんばったが、一人しか追いこすことができなくてすごく悔しかったです。

ランは、バイクの後だったので足が重いような感じがしていつものような良い走りができなかったです。登りがすごくきつくてつかれました。

トライアスロンを通して、あきらめずに挑戦することの大切さを学びました。

次は、もっと良い記録を目指してこれからも努力を続けていきます。



八幡平市トライアスロンスポーツ少年団

「ぼくがD.MAXに入って」

Dig.Max八幡平スポーツ少年団スポーツ少年団

吉田 大和

ぼくは、2年生から入ってD.MAXにお世話になってがんばってきました。入ったとき最初ちょっとなんかこわいなと思ったけれどだんだん楽しく感じていって今も楽しくやっています。このように楽しくできたのは先輩とお姉ちゃんがいたからです。そして監督とコーチがいたからです。先輩たちのプレーを見てサーブ、アタック、レシーブも上手でぼくは最初レシーブを上手になりたいと思いました。最初はうまくレシーブすることができなかったけれど練習をしているうちにできるようになりました。オーバーパスとアンダーパスのレシーブをするとき体全体を使ってやわらかくパスをできるようになったと思います。

お姉ちゃんとお父さんとバレーボールをやっているうちにレシーブができるようになりました。特に強いアタックやサーブをとれるようになりました。監督に教えられたとり方、足の向き方、かたの向く方一つ一つが大切なことが分かりました。

次はジャンプ力をつけたいです。そのためにはトレーニングが必要だけどぼくはトレーニングが苦手だから得意になるようにがんばりたいです。残り少ないけどやれるだけ集中してがんばりたいです。

今のD.MAXは人数がいっぱいいるからみんなでしっかりルールを守ってがんばればどんどん強いチームになると思います。ぼくもD.MAXでいろんなことを覚えてよかったと思います。ぼくは卒団になるけどチームのみんなは強くなれるからがんばってください。



「成果と課題」

西根一中STスポーツ少年団

遠藤 楓穂

私たちテニス部の一年間の活動の大きな成果は、チーム一丸となって頑張ったことです。日々の練習と仲間との協力のおかげで、中総体や新人戦など、様々な大会で入賞することができました。

一方、課題も見つかりました。練習中の声出しや、全体のまとまりなど、改善すべき点は沢山あります。部員一人ひとりが意識を向上させ、具体的な目標を持って練習に取り組むことが大切だと思いました。

これからの活動では、一人ひとりが考え、感謝の気持ちを持って、試合に勝てるよう練習に励んでいきたいと思っています。ありがとうございました。



「これまでの活動を振り返って」

西根ミニバスケットボールスポーツ少年団

高村 優李

僕たち西根ミニバスは男子10人、女子9人の19人から始まり、現在総勢35人の部員で活動しています。

令和7年度、最初の大きな試合はビッグブルズの招待試合から始まりました。

今までいろんなことがありました。部員が少なかったときもありました。6年生がいなくて5年生が最上級生として活動する時期もありました。試合ではなかなか勝つことができず辛い時期もありました。怒られてばかりで悲しいときもありました。

いろんな経験をしてきて僕たちが今思っていることは、辛くても、勝てなくても、悲しくてもこのメンバーと一緒にバスケットを続けてきたから楽しかったし、辛い時期でも諦めなかったし、学校や学年、男女関係なく過ごす時間がとても幸せです。

チーム一丸となって練習をして、たくさんの練習試合や大会をとおして勝つことへの喜び、負けることの悔しさ、次には勝ちたいと思う気持ち、バスケットを通して仲間と過ごす時間の大切さを分かち合えました。

夏の地区大会、男子は2位、女子は3位、県大会では男子は1回戦負けでした。とても悔しかったのを覚えています。そんな僕たちはこの冬の地区大会で、男子は優勝、女子は3位で男女ともに県大会へ行きます。このメンバーで1回でも多く勝てるよう、少しでも長く一緒にバスケットが出来るよう、最後まで精一杯頑張りたいと思っています。

最後になりますが、この経験が出来たのは、日々の練習の送迎、試合の準備や応援など、僕たちを信じて、僕たちの成長を見守り、支えてくださった保護者の皆様が僕たちと一緒にこの一年を過ごしてくださったからです。そしていつも熱心に、いつでも厳しく、時々優しく、バスケットの楽しさといろいろな経験をさせてくれた指導者の皆様、本当にありがとうございます。西根ミニバスで過ごした時間、経験は僕たちの宝です。最高の仲間と最高の指導者に囲まれた日々を僕はずっと忘れません。ありがとうございました。



西根ミニバスケットボールスポーツ少年団（女子）



西根ミニバスケットボールスポーツ少年団（男子）



「感謝」

八幡平ジュニアベースボールクラブスポーツ少年団

工藤 永登

ぼく達八幡平JBCでは、この1年間あいさつ返事を大切に、道具への感謝、そして、かんとく、コーチ、保護者、への感謝の気持ちを持ちながら練習にはげんできました。

また、7月に高知県へ行き、第14回りょうまきそうだつ西日本小学生野球大会に参加しました。この大会では、1回戦敗退だったけど、翌日の交流戦で、高知県、香川県のチームと試合をして、全国の強さを、このチーム全員で感じ、この全国という場で、みんなと戦えてとてもうれしかったです。この大会に出れたことは、地域の方々がたくさん応援と協力をしてくださったことを忘れずに、こんどぼく達が大人になったとき恩返しできる、大人になりたいです。

来年は、この経験を生かして、市の大会で勝てるようにそして、県大会、全国大会を目指して、がんばりたいです。



八幡平ジュニアベースボールクラブスポーツ少年団

「今年の活動を振り返って」

西中STスポーツ少年団

大塚 空翔

私たち西中STスポーツ少年団は、3年生2人、2年生2人、1年生9人の14人で活動してきました。新人戦、中総体に向けて、1人1人が少しでもレベルアップできるように練習をがんばってきました。県大会出場を目標に活動してきましたが県大会に出場することはできず、悔しい結果になってしまいました。しかし、日々の練習でしてきたことは無駄ではなく、技術を向上することができ人間性も成長できたと思います。いつもテニスの事だけではなく、返事の大切さや、今何をしなければいけないのか、何を考え行動しないといけないのか、日常生活で私たちがこまらないようにと熱心に指導してくれた工藤コーチ、私たちが練習に集中できるようにサポートしてくれた保護者のみなさんに感謝の気持ちでいっぱいです。今後の活動でもチームで協力し支えてくれる方々に感謝の気持ちを忘れず良い結果を残せるようにがんばってほしいです。



西中STスポーツ少年団

● 編集後記 ●

今年も、子どもたちが書いた作文を読みながら、地域の大人として胸がじんわり温かくなる時間を過ごしました。練習でうまくいった日も、悔しくて泣きそうになった日も、どれもがその子らしい言葉で綴られていて、「ああ、この子はこんなふう」に世界を見ているんだな」と思わず目を細めてしまいました。

スポーツを通して学ぶことは、勝ち負けだけではありません。仲間と声を掛け合うこと、苦手なことにも向き合うこと、そんな一つひとつが子どもたちの成長につながっています。

また、保護者の皆さんや指導者の皆さんの支えが、子どもたちの言葉の端々からしっかりと伝わってきます。地域全体で子どもたちを育てているのだと、改めて実感しました。

この冊子が、子どもたちの一年のがんばりを振り返るきっかけとなり、また来年度の新しい挑戦へのエネルギーになればうれしく思います。

来年度も、地域のおちこちで、子どもたちの元気な声と、たくさん笑顔があふれる一年になりますように。